

令和5年度 国分寺市社会教育委員の会議 第7回定例会

日 時：令和6年2月2日（金）午前10時～

会 場：ひかりプラザ 101号室

議長 : 今日には教育委員会の臨時会があるので、課長の皆さんは遅れて出席と聞いています。また、副議長が少し遅れると聞いております。それでは第7回定例会を始めたいと思います。

今年度最後の会議になります、1年間お疲れ様でした。

それでは次第に沿って、まず報告事項のほうを事務局からお願いします。

事務局 : 報告事項です。令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回理事会の開催についてです。こちらについては、2月13日火曜日午後3時から、調布市の文化会館たづくりで開催されますので、議長と事務局と2名で参加する予定であります。出席した後、共有できることがあれば、またお伝えしたいと考えております。

以上です。

議長 : 都社連協でも今年度もいろいろと部会の学習会、それから全体の学習会等がありました。この理事会は2回あり、各市の議長、副議長が出席するものです。来年度に向けた内容になると思いますので、話を聞いてきます。

それでは、次の協議事項に入ります。今後このリーフレットをどのように活かして、社会教育について皆さんに理解していただくかという話の中で、10月23日に公運審と話し合いをさせていただきました。その際、各館のサポート会議にもぜひ出席して、公民館の現場でどんな活動をしているのか聞いてほしいという話があって、1月中旬から下旬にかけて、手分けしてサポート会議に出席してみようという話をさせていただきました。

各サポート会議に出ていただいた委員の方々からお話をいただいて、その中で共有できるもの、共有しながら社会教育委員として次のステップにつなげていきたいと思っています。

併せて国分寺市現庁舎用地複合公共施設のワークショップが先週の木金土とありましたので、こちらも委員で傍聴していただいた方がいますので、皆さんのご感想などをお話いただき、共有していただきながら、私たち社会教育委員が今後何かしら取り組んでいけることがあるかどうかなどを話し合っていきたいと思っています。

今年度最後の会議ですが、また4月からは期が替わりますので、次年度につなげていける話し合いができればと思っています。

まず「公民館運営サポート会議の報告について」、各館へ行っていただいた委員からお話をさせていただけたらと思います。本多からでよろしいですか。

A委員 : 本多公民館に伺いましたが、本多公民館が何をしているかということが、私自身がよく分かったというのが一番です。年間を通じて、どうしても子どもたちのイベントに視点がいきますけれども、そうではなくて様々な世代に視点を当てながら、様々な企画やイベントが行われているということ、また、少ない職員の皆さんでそのように運

営されているということに驚きました。いい機会を頂いたと思っています。

機会があれば一緒に参加していきたい。地域交流事業にも出ていますので、そちらのほうで少し関わっていければいいかなと思っています。

議長 : 私も一緒に出席いたしました。今日各館のサポート会議の委員名簿と事業報告や事業予定を中心に資料として配っています。本多は施設も大きく、子どもから高齢者の方まで集まれるような事業を展開しているというのを聞きましたが、委員としては今回リーフレットを作って、今、取り組んでいる内容を話してきました。今、A委員が話された地域交流事業、また地域会議がありますので、またそこにも参加できる機会ができればと考えています。次は恋ヶ窪、お願いいたします。

B委員 : はい、社会教育課長と私とで恋ヶ窪公民館に行きました。館長から恋ヶ窪でも様々な事業を実施しているとの話がありました。やはり事業がたくさんあって、これを継続していくためにどうしたらいいかという話もありました。サポート委員の中に公運審の副議長もいらっちゃって、これだけのいろいろな事業が新しい施設で担保できるのかという話もありました。社会教育についてもリーフレットを交えて話をしました。

議長 : 恋ヶ窪の庁舎跡地の件については、この後も話をしたいと思っています。一番影響があるのが恋ヶ窪公民館かと思えますので、利用している方たちの懸念というのは、多々あるかと思えます。次に光公民館はいかがですか。

C委員 : 光公民館は、D委員と私と、事務局もいらしてくださった。プレイステーションは、このリーフレットのもとになる答申を作る際にもヒアリングに行きました。そこでの会議でしたが、最初は施設見学でしたので、サポート会議の皆さんと一緒に見学しました。部屋へ戻った後、最初に社会教育委員から話をさせていただきました。リーフレットを皆さんの手に取ってもらうのが大事なことで、リーフレットの説明をいたしました。社会教育委員はつなげる役目をしているという話もしました。

D委員 : サポート会議でたまたまプレイステーションの見学を兼ねていましたので、はじめに一緒に見学しました。施設の方も、お話から活動から、とても熱が入っていると感じました。やっぱり現場を知ることが必要だと思いました。

議長 : それでは次のもともち公民館ですが、私と事務局とで行ってきました。サポート会議、各館共通ですが、事業の報告や予定についての話を主にされました。もともち公民館のサポート会議が中心になった事業や地域と一緒にやる事業も多くあり、継続していきたいとのことでした。私も社会教育委員でリーフレットを今回作ったので、皆さんと一緒に社会教育の活性化を図っていきたいというお話をさせていただきました。地域会議が非常に盛んなので、ぜひ今度地域会議にも参加して、どんな活動をしているのか見てほしいとの意見もありました。では、次に並木ですね。

B委員 : 並木公民館は、私と議長と事務局とで行きました。

サポート会議の中の社会教育関係の方が話した内容で、お母さんたちの集いがここ5年で変わってきており、LINEをうまく使いこなして、グループ化するのがとても早いという話が印象的でした。

サポート会議の中に社会教育関係者が入っているのは、公民館だけのことを話しているのではなくて、社会教育という観点からも物が言えるのですばらしいと思いました。

議長 : 私も並木と一緒に参加いたしました。サポート会議の委員の方で、公民館で長年親子教室という10回ぐらいの連続講座をお願いしている方もいました。孤立してしまいがちな子育てをしている親が、地域で仲間と一緒に子どもを育てていこうという、もう50年ぐらいやっているものです。

この講師の先生がサポート委員に入っていたということもあり、いろいろお話を聞きました。LINEの話も今の時代を反映していると思います。働いているお母さん方が多く、育休が明けた後、どのようなグループを作っていくのかという課題があるという話もされていました。

公民館でも大事にしている事業です。子どもの成長とともに地域で活動していくという、その年代に合わせて活動を広げていくことのできる大切な事業ではないかなと思います。

B委員 : このように事業報告を見ると、部屋を借りてみんなで集まって活動するものと、目的を持って事業として継続していくものと、公民館は2つの構造になっているということをおたちは意識しておかなければいけないと今回思いました。公民館の事業というものを、社会教育の中でも大事なものと意識しながら発言していきたいと思っています。

議長 : お部屋を借りられる施設、グループ活動を支援する施設であるという面はもちろん否めないところはありますが、ただ単に部屋を貸しておけばいいという場所ではなく、一緒に学んでいく、その中から地域課題、それからその人の抱えている課題をどう全体のものとして取り組んでいけるかという部分が、公民館の、あるいは社会教育の柱なのではないだろうかと思っています。

今回のサポート会議で報告された公民館事業の資料から、また新たな社会教育というものが見えてくる部分があるかと思いました。

社会教育の関係者が各館のサポート会議にいるのは、公運審を一本化する流れの中で、各館に設置されていた公民館運営審議会がサポート会議という形になり、社会教育の専門の方をきちんと配置しておくことが大事な要素ではないかという背景もありました。いろいろな先生方も入った上で、公民館の活動について協議しているのがサポート会議です。

続きまして2番の庁舎用地の複合公共施設のことについて、傍聴した委員の方を中心に様子をお話しただけたらと思います。

A委員 : 25日の夜に出ましたが、各階の基本的なものは、業者が既に入っている中で、その中で市民が入ってどのように進めるのかそういう印象もありました。子どもの居場所が足りないという声も上がっていたので、フリースペースの様々な活用の中で、中

高生も使えるようにということが話し合われていたかと思います。

その日によって市民の方が替われば、その内容も変わっていくかもしれませんが、ある程度の枠の中で、市民の皆さんの声を汲んでいくものだろうと感じました。

議長 : D委員、いかがですか。

D委員 : 私は26日の金曜日、福祉センターのほうで課長と傍聴しました。福祉センター自体も庁舎跡地に移転することもあり、その関係者が結構来ていたと思います。議員や市の課長など、傍聴者は結構多かったです。

このグループディスカッションの前に説明はないのかとかという意見もありました。最後はそれぞれの意見をうまく出させて、それが新しい施設の共用スペースのことが中心になっていった気がします。

決まっているのを何で論議させるのだと言って帰った方もいて、この会議というものをもっと前に開催していただきたかったと思います。

E委員 : 1月21日土曜日の午前中にワークショップに行ってきました。やはり今、D委員もA委員もおっしゃったように、もう形が決められていて、パズルのように施設をどう組み込むかというものを話合う感じでした。皆さんでKJ法で附箋を使って、ぺたぺたと意見を張りつけて、それを業者の方がカテゴリー化していたのですが、公民館の専門職と市民が話すことのできるスペースが必要ではないかという意見も出ていました。最後のまとめで、リモートで参加した方が、図書館、公民館の社会教育という観点をできるだけ外さないで話し合われるといいなどと話していました。

先ほど議長がおっしゃったように、個々の課題、地域課題というところを、どういふふうにこの施設に反映していくのかなと思いました。前ここで話した社会教育課がそこに入っていないとこと問題ではないかなと思いました。

B委員 : 同じ土曜日の午前中に私も出て、公運審の議長いるグループではフリースペースの活用について活発に議論をされていました。社会教育の観点からのフリースペースの使い方をどうするか、また、市職員が市民と一緒に考えて、事業化できるような体系にしたいというような意見も出ていました。駅からのアクセス面や防災の観点から議論している方もいました。

議長 : 午前中は副議長が出席されましたね。

副議長 : オンラインで参加しました。冒頭の説明は分かったのですが、話し合いからは何も聞こえませんでした。話し合いの場を見せてほしかったです。あまり議論の中身までは聞けませんでした。自分が感じたのは、図書館の機能をどうするのか、オープンスペースをどうするのかといったような提示された課題がすごく多かったことです。

D委員 : 7項目全部議論していました。

議長 : 全グループがそれぞれで議論していました。

副議長 : 例えば図書館やフリースペースなどの機能について議論するのは難しいだろうなという印象を持ちました。そのものの議論というよりは、何をどこに配置するのかといった議論になっていました。

社会教育委員の役割として、提言をもとに市民会議に行ってきた部分がありますので、現場で出た意見がどのように政策などに反映されたのかを把握するところが1つ、図書館や公民館といった社会教育施設が入りますので、この施設の中で社会教育と他の要素がつながって、学びがどのように展開されていくのかということ把握していくのがもう1つかと思います。

職員との触れ合いという話がありましたが、提言の5番目に関連して、フリースペースなども使いながら、職員が市民と交流しながら施策が作られていくことがあれば答申につながるのかと思いました。

C委員 : A委員がおっしゃったように、市民の意見を聞く場を作っただけなのかという印象はありました。話合いは、もう箱があって、その中の配置を決めるような話が多かったと思います。

どこに何を配置するかというのは、確かに建物を建てるので必要なことかもしれませんが、ここに持ってくればこういう生かし方ができて、こういうことができるのではないかという、その一步先の話合いというのはほとんどなかったように思います。

議長 : 私も土曜日の午後に参加いたしました。皆さんが言うように、テーマは非常に多く、各施設の要望とどう絡めていくのかというところまでは、まとまらなかった印象でした。

この資料では、各施設が持つ本来の役割が曖昧になっている印象があって、その曖昧なところにどのように絡めていくのかというのは更に曖昧になっている感じです。大きな複合施設をつくる時は、場所の取り合いになりがちで、全体的な施設での配分を考えるうえでフリースペースも大切だとは思いますが、もともとの各施設の核となる部分が曖昧になるともったいない気がします。また、既存の施設のスペースにどれだけこだわるかという部分もありました。

参加者がそれぞれの立場で熱心に発言されていて、その良い意見をどれだけ汲み取っていくのが重要だと思います。

B委員 : 地下を作るとスペースも広くなり自分たちの活動の場も広がるので、地下に駐車場をとという意見も多く出ていました。また社会教育という言葉も多く耳にしたのでよかったと思っています。

副議長 : 場をどうするといった資料で機能面があまり書かれてない印象でした。機能も考えながら議論するという部分が欠けていたのかと思います。

図書館や公民館の機能は分かりやすいのですが、その機能がどう連携したら広がるといった部分が見えにくいと思いました。

様々な施設が入ることで、その配置によって世代交流もできたりします。どうしたら交流しやすいものになるのか、その辺りが社会教育として充実されるといいと思います。

議長 : 今年度今日が最後の会議になりますが、任期もここで終わることもあり、社会教育委員として、活動報告を作っていたと思います。公運審やワークショップに参加したことも踏まえて、新しい施設に対する期待など、社会教育委員としてまとめるイメージでしょうか。

副議長 : 市民の声を聞いて、届ける、実践するというところで、社会教育委員として何ができるのか、会議で良い意見も出ていますので、形にしたいと思います。

社会教育課長 : 先ほどお話があった活動報告書にそのような内容を盛り込んで、社会教育課から提出することはできるかと思います。

議長 : 図書館運営協議会や公民館運営審議会は、公共マネジメント課との話し合いは進めていると思います。現場としてもいろいろな情報共有がなされていると思いますが、今回社会教育委員として、答申やリーフレットを基にワークショップなどに参加した流れの中で、新しく社会教育も関わる施設として社会教育の役割が見えるような施設になってもらいたいということが提言できればいいと思います。

D委員 : 公民館課長と図書館課長のお二人の管理する施設が移転しますが、それに対していろいろなご意見をその会議で言える機会はあるのですか。

公民館課長 : 仕組みとして、係長職の会議、私たち管理職の会議、それ以上の会議と幾つかあり、今回のワークショップの前に管理職の会議を設定してもらいました。この資料に最初は公民館という文字が一切なく、貸し館のところだけに入っていたので、それだけでなく公民館は事業も講座もやっていることを申し入れて、このような形になりました。

この資料では、多目的室が通し番号になっていて、どこからどこまでが公民館で、どこからどこまでが福祉センターという縦割りではなく、市民から見たらどの部屋も平等に使うことができるというのを目指しているということでした。

ただ、市長部局と教育部門と条例が違いますし、施設や利用者による使用料の有料無料の問題もありますので整備は必要になります。ワークショップでは、機能というワードで、どのような場所であったらいいのかなど、皆さんからご意見を頂こうというスタンスでこのような資料になっています。

市民との関係性といったソフト面をどのように考えるかによってハード面もかわってきますが、時間的な制約もあり今回はそこまでの議論はなかったと思います。

図書館課長 : 今、公民館課長からお話しましたが、この資料に関しては、まず実務担当者の中で話し合って、それを検討部会でさらに議論した上で、今回資料として出しているものです。

公民館課長と私は、その検討部会の委員ですが、その委員のメンバーは関係する課長で構成されています。実務担当者の会議もそうですが、そこではそれぞれの施設で必要な要件等をさまざま伝えていきます。

公共施設マネジメント課では、できるだけ市民の意見を取り入れて、市民目線でいいものを作っていきたいと考えており、先日のワークショップでの意見を踏まえてどのようにアウトプットしていくかが今後の課題になるのかと思います。

ただ、市民のいろいろなご要望はもちろん分かりますが、一方でそれぞれの施設の使い方などとどのようにすり合わせていくのが大きなところかと思っています。公民館としての、また図書館としての意見を会議では伝えております。

議長 : 行政の現場として、また審議会などから伝える場もありますので、私たち社会教育委員としての視点から伝えることもできるかと思っています。

- D委員 : 23区では、公民館、図書館という単独施設ではなくて、コミュニティセンターと統合していくというのが東京都の施策です。
- 議長 : 現場の部署は入れるけれども、それ以外は入れないというのは事実としてあります。ただ、図書館や公民館の課長が出席している会議ですので、社会教育としての視点から何かしら関わっていただければいいと思います。
- 副議長 : 委員の皆さんからは、今回気づいたことなど何でも書いていただいて、議長、副議長で内容をまとめていきたいと思います。
- 議長 : 議長、副議長でまとめた上で、提言のようにさせてもらうことでよろしいですか。少しでも図書館や公民館がいいものになっていただきたいし、これから市民の方の施設を50年くらい使っていくことになりますので、これからの時代を見据えた施設となるような一助になればいいという思いがあります。
- 副議長 : 各委員が現場で聞いてきた意見などを集約していただいて、社会教育委員としてどう感じたか意見や感想でまとめてもらうイメージです。
- 議長 : 各委員から事務局に今月中に送っていただいて、議長、副議長でまとめることでよろしいでしょうか。
活動報告はどうしますか。
- 事務局 : 確認しますが、3月31日付けで各期が終わったときに、教育長にご報告されていると思います。
- 議長 : 2年に1度ですかね、今期の委員会はどのような経過で、どういう話をしてきたかという内容でまとめると思います。答申も出て、このリーフレットも作っていますので、このようなことをしてきたというのをまとめられると思います。
- 事務局 : 図書館運営協議会につきましては、なかなか日程の折り合いがつかない状況です。次回開催ですが、5月中旬頃を予定していますので、また改めてご案内させていただきます。
- 社会教育課長 : 令和5年度1年間ありがとうございました。来年度の社会教育委員の関係予算ですが、今年6回を8回と回数を増やす方向です。また、社会教育委員について何か打診しております。報告は以上です。
- 議長 : ありがとうございました。予算が無事通るよう願っております。
それでは1年間本当にお疲れさまでした。どうもありがとうございました。